

# 特集

# 藤堂高虎公入府四〇〇〇年記念事業の案内

## NHKのご自慢の案内

自慢のものを披露

放送は来年

3月15日(日)予定

藤堂高虎公入府400年事業の一環として、津市とNHK津放送局は「NHKのご自慢」の公開録画を実施する。出場・観覧の申込みは終了済み。

予選会は来年1月17日(土)に行われ、予選会を通過した20組が18日(日)の本選に進む。会場は津市・身田の三重県文化会館大ホール。

ゲストは演歌歌手の山川豊さん(三重県鳥羽市出身)と長山洋子さん。放送予定は来年3月15日(日)12時15分~13時、NHK総合、衛星第2、ラジオ第1、全国放送。



## 津シティマラソン案内

マイペースで走る楽しさ実感  
ゲストランナーは金メダリストの吉田沙保里さん

「第4回津シティマラソン」(津シティマラソン実行委員会・津市・津市教育委員会主催)が来年1月25日(日)、津市安濃中央総合公園で開催される。雨天決行。午前10時スタート。受付は午前7時半~午前9時まで。参加申込みは12月5日終了済み。

走ることの楽しさやスポーツを通じた健康づくり、地域活性化促進を目的に開催される同マラソンは毎回多くのランナーが参加。走る楽しさを味わえるスポーツイベントとして人気がある。市外・県外からの参加者も多く、前回の参加者は1780人だった。同公園を発着点に高校生以上一般の10キロ、中学生以上一般の5キロ、小学4年~6年生と中学生以上一般の2キロ、ジョギングの5コースがある。



(株)フォトクリエイト提供

それぞれ自分のペースにあった走りを楽しめる。

## 津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの案内

### エンジョイ・スポーツ!

「スポーツ・レクリエーションを通し相互交流を深め、健康で豊かなスポーツライフの実現と市民誰もが生涯を通してスポーツ・レクリエーションを楽しむこと」を目的に11月から来年2月にかけて、「津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル」(津市スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会主催)が開催される。「ジュニアスポーツ団体駅伝

今回のゲストランナーは北京オリンピック・レスリング女子55kg級金メダリストの吉田沙保里さん(津市出身)。

レース終了後には表彰式が行われ、抽選会や豚汁の提供もある。

お問合せは津市スポーツ・文化振興室スポーツ振興課内津シティマラソン実行委員会事務局、電話059(229)3254。

大会(津市スポーツ少年団駅伝大会)は来年2月14日(土)、安濃中央総合公園周辺で開催される。受付は午前8時~。

「寒さに負けない体力と心身の鍛錬、相互親睦を深めよう」と同実行委員会と津市スポーツ少年団本部が主催する。駅伝の部と友好レースの部があり、前回は116チーム、856人が参加。元気な走りを見せてくれた。

対象はスポーツ少年団や子ども会などに加入している人。申込み締切は、12月26日(金)。



同日の来年2月14日には2つのスポーツイベントも開催する。

「ユーススポーツ体験&車いすバスケットデモンストラーションと体験」は、午後1時半から安濃中央総合体育館及び周辺施設で開催する。どなたでも参加でき、事前申込みは不要。

「アクアスポーツフェスティバル」は、午後1時から津市民プールで開催する。

「水と仲良く楽しもう」と元オリンピック選手の高橋繁浩さんによる競泳ウィンポイントアドバイスや尾陰由美子さんの水中運動がある。小学生以上が対象。※小学生は保護者同伴。参加費300円。定員先着80人。申込み締切は、12月16日(火)。

お問合せは津市スポーツ・文化振興室スポーツ振興課、電話059(229)3254。

# 特集 藤堂高虎公入府四〇〇〇年記念事業の紹介

## 津まつり

多彩な催し 溢れる笑顔 津まつりにどこと39万人!

「津まつり」津まつり実行委員会主催が、10月11、12日、津市中心街で開催された。

主催者発表によると2日間、約39万人の来場者があった。藤堂高虎公入府400年記念の年ということもあり、昨年より約1万人増となった。

津まつりは津藩第2代藩主藤堂高次公が八幡神宮を現在の地に移し、藩祖高虎公の霊をまつた際の祭礼から始ま



つたとされ、藩の奨励もあり、盛大なものになっていったという。

11日の「市民総おどり」は、約30団体1600人が参加。おなじみの「津音頭」などを始めとする踊りで市内を熱気に包んだ。山車・みこしは11、12日の両日、約30団体2100人が参加。12日の引き船来も約50人の参加があり、市内各所で盛り上がりを見せた。

また毎年人気の第27回「フリーマーケット in津」もお城公園会場で開催され、多くの買い物客で賑わった。

12日は注目の大パレードが行われた。和船山車「安濃津丸」や高虎時代絵巻、郷土芸能団体、「安濃津よさこい」チーム、市内小中学校の吹奏楽部など62団体が参加し、市内をパレードした。

一日船長にタレントの安めぐみさんを迎え、日本最大級の和船山車「安濃津丸」が出発すると沿道にはその姿をひと目見ようと大きな人垣ができ



た。

藤堂高虎公入府400年記念の今年「高虎時代絵巻」の時代行列も参加人数約120人と人数も増え、よりスケールアップして大パレードに参加した。公募で選ばれた高虎公役の横田吉昭さんや奥方役の柘植彩花さんを始め、高虎公入府400年記念事業公認キャラクターのシロモチくん、手づくり甲冑に身をまとった武将たちやかわいっこびつ子武者たちなどの華やかな行列に沿道の人たちは手を振り、身を乗り出すように見入っていた。フェニックス会場で開催された「津・郷土芸能の集い」には「

## 甲冑の紹介

### 根気の作業続け、見事完成 大パレードに華やかな彩り

津まつり大パレードで、ひときわ注目を集めていた「高虎時代絵巻」中、でも沿道の人々を驚かせたのは、手作り甲冑の素晴らしさだった。

これはNPO法人「三重ドリムクラブ」(加藤久代表理事)主催の「手作り甲冑教室」参加者12人が完成させたもの。



磯竹正道講師と手づくり甲冑教室参加者の皆さん  
新祥子さん・上嶋とき子さん・乙部結治さん・川合史朗さん・黒川順一さん・斉藤好信さん・藤原てる子さん・数内彦一さん・田川修さん・入江敦史さん・中川怜奈さん・加藤久代表

磯竹正道講師に指導を受け、4月から2回教室に通い、家に持ち帰っては残りの作業を続けたという。段ボールにペンを重ねて着色、サンドペーパーかけや布貼り、ドリルで穴を開け、紐を編みこむなどその作業工程は細かい。しかし参加者は「根気のいる作業も楽しく、また作りたい」と笑顔で話した。なるべく家庭にあるものを使ってという磯竹講師は工事用ヘルメットを加工したり、止め具をアイデア利用するなど工夫を凝らして指導。色やデザインに個性を出し、完成した甲冑は世界にしかない貴重なものとなった。